

新年度のごあいさつ

秋田市農業委員会

会長 佐々木 吉秋



今年の冬は、平年に比べ暖かい日が続き、皆様におかれましては、日々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当委員会の業務運営に対し、

格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
昨年度は、春に霜害、7月には観測史上最大規模の豪雨災害があり、県内の農林水産関係の被害額は過去最大となりました。その後、夏から秋口まで猛暑が続くなど、シーズンを通して、平時では考えられないような気象状況であり、稲作においては特に、大幅な減収となりました。

今年は年始から、石川県で大変な地震災害がございました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。私たち農業者といたしましては、こうした気候変動や自然災害に対応した栽培管理が必要不可欠であると強く感じております。

さて、いよいよ今年の農作業が本格化します。昨年度に始動した地域計画策定に向けた動きも市内全域に広がり、今年度中に計画を策定する見込みです。

こうした中、当委員会では、本市農業を取り巻く現状を踏まえ、農地の利用調整、遊休農地の発生防止・解消等に取り組み、農地利用の最適化の推進を目指してまいります。皆様とともに、地域農業の未来について考え、様々な農政課題と向き合い、解決に向けて最善を尽くす所存です。で、引き続きご指導とご協力をお願いし、皆様にとりまして、実り豊かな素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。あいさついたします。

本年度もよろしくお祈りします。秋田市農業委員会 農業委員・推進委員一同

会長

佐々木 吉秋

会長職務代理者

佐々木 繁明

農業委員

齊藤 善彦 鈴木 昇

白岩 勝 関 正美

相場 堅一 加藤 淳

武藤 真作 星 容子

伊藤 洋文 三浦 宏和

柴田 ますみ 佐々木 和昭

加賀屋 慎一 鎌田 悦雄

藤田 修 佐々木 英久

佐藤 吉子 (議席順)

推進委員

藤嶋 卓也 鎌田 一

伊藤 貞美 保坂 正真

中嶋 庄悦 土田 久雄

荻原 豊 鎌田 重憲

熊谷 裕幸 鈴木 英弘

平川 秀悦 伊藤 由和

加藤 哲実 鈴木 栄一

榎 繁和 熊谷 栄一

鎌田 一美 田口 正志

三浦 光一 足利 俊博

藤島 岳洋 鎌田 文市

山上 一 石井 健

酒井 慶一 佐々木 晃

吉田 孝司 佐々木 晃

齊藤 又右衛門 (区域順)

【本号の主な内容】

表紙	新年度のごあいさつ	5ページ	新規就農者取材記事ほか
2ページ	地域計画について	6ページ	秋田市農業大賞表彰式
3ページ	生き生き農業専科ほか	7ページ	秋田市貸借料情報ほか
4ページ	市への要望書提出	8ページ	農業者年金制度ほか



はじまります！

「地域計画」とは

○農業者や地域の皆さんの話し合いにより策定される**地域の将来の農地利用の姿を明確化した設計図**です。

○担い手がいない地域では、地域計画にその旨を記載し、地域外から新たな担い手を呼び込むために活用できます。

※地域計画は農業経営基盤強化促進法に規定されています。

具体的な内容

○5年後、10年後、地域の農地を誰が利用し、どうまとめていくか

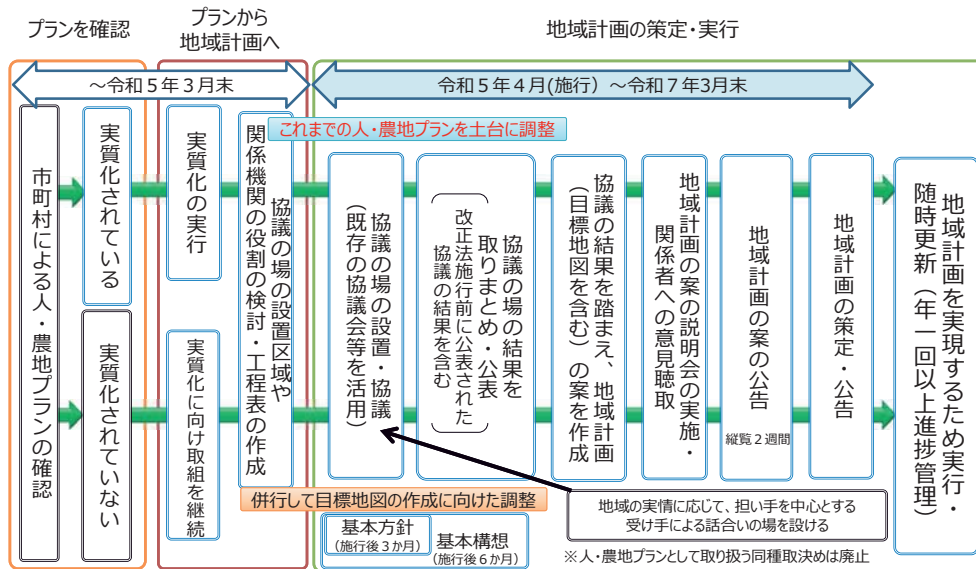
○地域の農業をどのように維持・発展させていくか

地域計画の区域や目標地図に位置付けられた経営体には、様々な支援措置があります。

〔例〕地域集積協力金、集約化奨励金、経営発展支援事業等

「地域計画」策定の流れ

国が示す地域計画策定までの流れは、左記のフロー図のとおりです。



地域計画策定・実行までの流れ【出典：地域計画策定マニュアル（農林水産省）】

【お問合せ先】秋田市農業農村振興課
TEL (018) 888-5735

秋田市では

○令和5年度は、ほ場整備事業を実施している地区を中心に協議の場を設置し、地域計画策定への準備を進めました。

○令和6年度は、その他の地域について、市内全域を7地区に分け、農地利用の意向把握を行い、令和7年3月末までに地域計画を策定する方針です。



協議の場（河辺戸島地区）

「地域計画」Q&A

※「地域計画」策定に当たったの留意点（全国農業委員会ネットワーク機構一般社団法人全国農業会議所 要約）

【Q1】令和7年3月末までに市内全域で完璧な目標地図（※）を作らなければならないのでしょうか？

※目標地図…将来の農業の在り方や、地域の農地の効率的かつ総合的な利用を図るために誰がどの農地を利用していくのかを一筆ごとに定めた地図

【A1】調整がつかない場合は「今後検討」などとして白抜きとなっても構いません。令和7年度以降も継続して話し合い・調整を重ね、徐々に地域計画を更新する取組を行うことが大切です。

【Q2】地域に担い手がおらず地域計画が作れません。

【A2】地域計画では、兼業農家なども計画に位置付けられます。また、現状担い手がいない農地については、当面は今の耕作者で農地を維持しながら、担い手・新規就農者の育成、地域外の法人招致などの取組を継続して担い手を確保していくことが考えられます。

【Q3】全集落で話し合いをするのは困難です。

【A3】人・農地プランや市町村その他関係機関の取組において担い手が明確化されているものがあれば、それらの既存地図を目標地図作成に活かせる場合があります。（秋田市では、ほ場整備事業の計画などを活用しています。）

【Q4】目標地図に位置付けられることにより権利移動が確定するのですか？

【A4】地域計画は10年後の予定として耕作者を特定するもので、農地の権利移動が確定するわけではありません。地域計画策定後、地域計画の実現に向けて権利設定などを促していくこととなります。

Topics トピックス

活き活き農業専科を開催しました

令和6年2月3日から3月1日にかけて、市内各所で活き活き農業専科を開催しました。当研修会は、農業委員・推進委員が地域の農業者と意見交換を行い、本市農業の発展に寄与するものとして、年一回、開催しております。

新型コロナウイルスの感染拡大により4年ぶりの開催となった今年は、市内7地区合わせて約160名の方にご参加いただきました。

今年度は、市が策定する「地域計画」および県が推進する新品種「あきたこまちR」などについて説明がありました。

令和5年度研修テーマ

- 地域計画について【秋田市農業農村振興課】
- 経営所得安定対策について【同上】
- あきたこまちRについて【秋田地域振興局】
- 農地法等の手続きについて【農業委員会事務局】



活き活き農業専科

令和6年度秋田市農業施策に対する要望書提出

令和5年10月10日、市役所において、佐々木会長から穂積市長へ秋田市農業施策に対する要望書を提出しました。これは、農業者の皆様からいただいた意見や要望を集約し、農業委員会総会において協議・決定したものです。喫緊の課題として取りまとめたものですので、市農業施策への反映および国を始めとする関係機関への働きかけについてお願いしてまいりました。



要望書提出

(左から佐藤きよ子委員、佐々木繁明会長職務代理者、穂積志市長、佐々木吉秋会長、柴田ますみ委員)

【市への要望事項】

- 1 担い手等の確保について
(1)担い手への経営継承について
(2)新規就農者の確保について

- 2 令和6年度秋田市単独補助土地改良事業の推進について

- 3 主食用米の作付転換について

- 4 地産地消の推進について

- 5 スマート農業の推進について

【国への要望事項】

- 1 水田活用の直接支払交付金の見直しについて

- 2 農業農村整備対策の促進について

- 3 燃料、肥料等農業生産資材の価格高騰に対する支援の継続実施について

- 4 食料自給率の向上について

- 5 最適化活動の報告の簡素化について

〈市への要望（抜粋）〉

○新規就農者の確保について
農業者の高齢化や労働力不足および、農村地域の過疎化が進行しており、若手農業者の存在は日を追うごとにその重要性を増してきています。

このことから、新規就農者の確保は喫緊の課題であり、国や市の新規就農者支援制度について広く周知するとともに、園芸振興センターの機能を強化し、研修生の受入れ数を増やすなど、新規就農者の確保に資する施策の強化を要望します。

また、新規就農者が営農を長く続けられるよう、関係機関・団体が連携し、就農後の総合的かつ充実したフォローアップ体制を講ずるよう併せて要望します。

○スマート農業の推進について
ほ場整備を契機として、秋田市内の各地では農業法人の設立が進んでいます。米以外の高収益作物への転換が求められており、限られた労働力を有効活用するためにもスマート農業は非常に重要なツールとなっており、

しかしながら、スマート農機は通常の農機具に比べて高価であることから、導入にあたり市による支援を継続するよう要望します。

〈国への要望（抜粋）〉

○水田活用の直接支払交付金の見直しについて
水田活用の直接支払い交付金制度については、これまで何度か見直されてきましたが、令和4年度には、交付対象となる水田の要件が厳格化され、5年間で一度も水稲を作付しない水田を交付対象から外すこととされました。

その後、1カ月以上水張りをすれば交付対象とする要件緩和が図られましたが、水を張る稲作と排水をする畑作は対極のものであり、転換するには多大な費用や労力がかかることから、中山間地のような条件不利地では耕作を諦め水田の遊休化が進むことが危惧されています。

このため、5年を超えて輪作するほ場も交付対象とするなど、地域の実情に沿った弾力的な運用によるよう国へ働きかけてください。

特に、同交付金が経営を恒常的に支えてきた中山間地域などでは、地域政策の視点も含め配慮するよう国へ働きかけてください。

新規就農者取材記事



田口 晃平さん

令和4年から秋田市添川地区で新規就農している田口晃平さん(31)を取材しました。

田口さんは群馬県出身で、20代の頃に秋田市に転入後、秋田市園芸振興センターで2年間の研修を修了し、現在のほ場を借りて耕作しています。

かつてこのほ場は、耕作者が管理できず耕作放棄地になりかけていましたが、田口さんの借入希望と合致していたことから、区域担当の農業委員・推進委員が地権者とマッチングを図り、農地の貸し借りに結び付きました。

田口さんはここで、大根、白菜、枝豆、ブロッコリーなどの路地野菜を中心に耕作しています。

区域担当の荻原豊推進委員は「彼は真面目な性格で、ひたむきに農作業に取り組んでいる。毎日ほ場の前を通るが、彼の姿を見かけない日はない」と言います。

また、知識や技術の習得にも意欲的で、取材時も、荻原推進委員に育苗や雑草の処理、水管理などについて熱心に尋ねている様子が印象的でした。

今後の展望について伺うと、「この周辺には耕作されていない土地が数多く見られるので、今後もそのような農地を積極的に借りて、経営を拡大していきたい」と力強く答えてくださいました。



ほ場の様子



荻原豊推進委員に相談する田口さん

パソコン農業簿記講座を
開催しました

◆令和5年度開催実績

【開催日】

12月5日、6日

【開催場所】

秋田市役所

【参加者数】

17名(延べ人数)

【講座内容】

複式簿記、パソコン簿記の基本、青色申告と税務申告のポイント等、すぐに役立つ知識・ノウハウを専用ソフトを操作しながら実践的に学びました。



簿記講座

Award
お祝い

令和5年度秋田市農業大賞表彰式

令和6年2月7日、秋田市役所正庁で、秋田市農業大賞表彰式を開催しました。この式典では、毎年、農業の発展に貢献している個人や団体を表彰しています。

👑秋田市農業大賞（1組）

秋田市農業賞の中から特に優れた農業者

👑秋田市農業賞（5組）

地域の担い手として模範的な活動を展開し、優れた業績をあげている個人や団体

👑農政協力員永年勤続表彰（11名）

10年以上農政協力員として、市や農業委員会と地域農業者のパイプ役として活躍されている方々

👑農業こども絵画コンクール（10名）

農業へ夢と希望を与える絵画を市内の小中学生から募集し、優秀な成績を収めた計10点（最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞8点）



農業賞受賞者と永年勤続表彰のみなさん

👑秋田市農業大賞

J A秋田なまはげ酒米研究会 様
〔河辺・雄和〕

👑秋田市農業賞

●経営体部門

土地利用型の部

高橋宏直様
〔河辺〕 水稻、大豆
J A秋田なまはげ酒米研究会 様
〔河辺・雄和〕 水稻（酒造好適米）

園芸生産の部

農事組合法人種沢ファーム 様
〔雄和〕 水稻、大豆、施設野菜、露地野菜

●若手農業者部門

安藤努様
安藤ひろみ様
〔添川〕 施設野菜

●地域活性化部門

新政酒造株式会社 様
〔河辺〕 水稻（酒造好適米）

👑農政協力員永年勤続表彰

工藤松雄様〔旭川〕
高橋正俊様〔太平〕
今野芳夫様〔上北手〕
佐々木徳太郎様〔上北手〕
菊地光男様〔上北手〕
手塚勤左衛門様〔下北手〕
鈴木和男様〔仁井田〕
鶴田一成様〔河辺和田〕
佐藤勇一様〔河辺豊島〕
杉山正彦様〔雄和川添〕
斉藤信幸様〔雄和大正寺〕

👑農業子ども絵画コンクール



「ひとつひとつ真心こめて」



最優秀賞

佐藤純花さん
（桜小・5年）



「私の育てたかわいい鈴なりトマト」



優秀賞

大谷華子さん
（飯島小・5年）

特別賞

小林快晴さん
（広面小・2年）

吉田理玖さん
（広面小・2年）

長谷川稀玲さん
（広面小・4年）

嵯峨連さん
（大住小・5年）

伊藤柊奈さん
（桜小・5年）

大野陽彩さん
（金足西小・5年）

菅原あさひさん
（金足西小・5年）

藤田ひかりさん
（金足西小・6年）

◇ 秋田市賃借料情報 ◇

令和5年1月から12月までに締結（公告）された田（水稻）の賃借権による賃借料水準（10aあたり）は、以下のとおりです。

区域名	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	データ数		
第1区域	6,124	10,000	4,000	783	飯島	32
					上新城	65
					土崎	—
					金足	668
					下新城	18
第2区域	7,025	11,600	3,376	166	旭川	5
					外旭川	90
					広山田	11
					太平	11
					下北手	49
第3区域	7,795	11,000	4,000	102	四ツ小屋	55
					豊岩	3
					下浜	9
					新屋・浜田	—
					仁井田	11
第4区域	5,961	10,000	2,500	495	岩見三内	141
					和田	180
					豊島	174
第5区域	9,723	15,900	2,953	551	川添	445
					種平	23
					戸米川	18
					大正寺	65

秋田市全	7,184	15,900	2,500	2,097
------	-------	--------	-------	-------

- ※1：データ数は、各区域の平均額算出に用いた筆数です。
 ※2：平均額は、加重平均で算出したものです。
 ※3：物納については、11,600円/60kgで換算しています。

令和6年度

◇ 秋田市農作業標準受委託料 ◇

作業種別		料金(円)		備考	
春 作 業	水田耕起	10a当	6,000	オペレータの1人作業	
	水田代かき	10a当	6,600	オペレータの1人作業	
	田植	機械植え	10a当	6,500	苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
		側条機械植え	10a当	7,600	苗は含まない オペレータと補助労働者の組作業
秋 作 業	脱刈穀取	コンバイン	10a当	18,600	籾運搬費(2,500円)を含む オペレータと補助労働者の組作業
		乾燥調製	生乾燥	10a当	7,400
	補助乾燥		10a当	5,000	籾の投入・排出・見回りとする
	もみすり		60kg当	500	紙袋は含まず、オペレータと補助労働者の組作業
	薬 劑 散 布	粉・粒剤(長管)	10a当	800	畦畔からの散布 薬剤は含まない
粉・粒剤(短管)		10a当	1,500	水田の中からの散布 薬剤は含まない	
乳剤		10a当	1,100	薬剤は含まない	
あぜ塗り		100m当	4,500	1m当り45円	
草刈り		10a当	1,800	畦畔及び溝畔部分	
溝切り		10a当	1,800	縦4本・横2本	
一般作業		1日当	7,500	男女共	

【注意事項】

- この料金は通常10aほ場条件のもとに算定した標準額を示したものです。50a区画以上のほ場での基幹3作業（耕起および代かき、田植、コンバイン）については、上記標準料金の90%とします。
- 労働時間は原則として1日8時間としています。
- 「賄い」その他現物支給は含まれておりません。また、委託者が補助的に作業出役をしないものとします。
- 「手植え」「手刈り」については、一般作業に含みます。
- この料金は、オペレータと補助員の人件費込みの金額です。
- この料金に、消費税は含まれておりません。

しっかり蓄えて老後の安心を！「農業者年金制度」

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入し、老後に備えることができます。

【メリット】

- ① 積立方式で生涯受給
 - ② 支払う保険料は全額保険料控除
 - ③ 保険料の国庫補助
- ※一定の要件を満たす方が対象

【加入要件】

- ① 国民年金1号被保険者
- ② 年間60日以上農業従事
- ③ 20歳以上60歳未満の方

※ご家族（配偶者や後継者など）も加入できます。

【保険料】

月2万円～6万7千円

※任意設定・随時変更可

【お申込み、お問合せ】

J A 又は農業委員会事務局

年金額の試算

<条件設定>

加入期間：20年（40歳～60歳）
 ※運用利回り・予定利率は農業者年金基金ホームページ掲載値

<受給額（年額）>

男性：243,900円
 女性：212,500円
 ※受給額は年金裁定時までの運用結果により変動します。



全国農業新聞は、暮らしと経営に役立つ農業情報のほか、経営のパートナーとして活躍している農村女性や若い青年農業者の活躍など元気あふれる情報をお届けします。

- ・発行日……毎週金曜日
- ・購読料……700円／1か月（送料、税込み）
- ・お申込み…秋田市農業委員会事務局へ
TEL 888-5796



編集後記



この度は、「農委だより」編集にあたり、ご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

今年には年始から、能登半島沖地震という大きな自然災害があり、被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大から4年、各種イベントが再開し、人々の間に以前のよくな活気が戻ってきたように感じます。

農業委員会でも、4年ぶりに活き活き農業専科を開催し、地域の農業者が顔を合わせ、農業について活発な意見交換が行われました。また、今年から、地域計画策定に向けた協議の場が地区ごとに開催され、地域の農業の将来について、農家や関係者での話合いも進んでおります。

農業委員会といたしまして、日々の活動の中で、地域の農業に対するご意見やご要望を伺いながら、課題の解決に向けて取り組んでまいりますので、今後とも、ご指導、ご協力をよろしく願います。

（会長職務代理者 佐々木 繁明）